

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 1日

事業所名 Kiddy四日市南

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動版に入ってはいけない場所に×を掲示して見える化している	子どもが困っている部分を見つけさらに過ごしやすい環境整備をしていきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		整理整頓(2S)を心がけて、物の置き場など見える化している	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		保護者様から評価表を頂く以外にはそのような仕組みがない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修会には積極的に参加したり、事業所内ではできる限り様々な研修を実施するようにしている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動の担当当日によって変更したりして意図的に変化を与えている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		できる限り楽しんで取り組めるようにアイデアを出し合っている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		翌日の朝礼時に昨日の振り返りを実施している	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		実際に支援の内容を見学しに行ったり、研修等で助言を頂いている		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		スタッフの子どもが共に施設で過ごす機会などを設け、障がいのない子どもと遊ぶ機会をつくっている	園との交流があまりないため、今後実施する機会を設けていきたい	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		県や市による会議に出席はしているが、地域の会などには開催されているかも不明なため参加できていない	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日子どもの様子を保護者に伝えている		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		お話を聞く中で、お子様への受け答えの方法を助言させていただく事はあるが、プログラムとして家族支援はできていない	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子どもたちの意見を聞き、尊重してルールを決めたりしている また保護者様から直接ご意見を伺うために公式LINEによる連絡ツールを用いている		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		システムにより毎日の活動記録が閲覧できるようになっており、SNSを活用して全体の様子も定期的に発信している		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要だと判断した児童には絵カードを用いている		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		BCP計画書を作成してスタッフ間で共有している	保護者の方々にも共有していく必要がある
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		最低年二回は実施している	南海トラフ地震の問題もあるので、訓練頻度を増やしていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	最低限、調理活動などに使用する食材はアレルギー食材接種防止のため保護者様と共有している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		怪我や危険な行為が見られた場合はヒヤリハット事例として記録している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		積極的な研修の参加や年1回以上の委員会を開催している	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		他害、自傷、物品破損などの激しいパニックを起こしてしまった場合にまずはクールダウンエリアへ隔離し、それでも治まらない場合のみ一時的な拘束対象とする	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結

公表:令和 5年 11月 1日

事業所名 放課後等デイサービスKiddy四日市南 保護者等数(児童数)9 回収数 8 割合 88.9 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	1			
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	8	1		子供の特性や課題、成長部分をしっかり見てくださり支援してくださっている。可能かはわかりませんが、スタッフの皆さんの顔写真月の一覧表などを配布されている事業所もあるので、HUG掲載、もしくは配布する予定があればほしい。	入社時や初見時は必ずご挨拶をさせていただきますが、定期的な職員の配置報告につきましては事業所で話し合い検討させていただきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	4			
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	9				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9			いつも屋内、屋外(外出支援)ともに楽しく活動できる内容になっていて子供が楽しみにしている	ありがとうございます。今後も子どもたちがより楽しんで取り組めるように努力してまいります。
	6 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7			
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8		1		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	2			
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	3		いつも丁寧に助言等していただき助かっている。	ありがとうございます。お伝えの仕方の質向上のために今後も努力してまいります。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		8	1		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	3		LINEや送迎時、HUGで丁寧に情報伝達してくださっている。	ありがとうございます。今後も継続していきます。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8	1			
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9				
14 個人情報に十分注意しているか	9					
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	3			
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	5			

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	3	約束、ルールを守れなかったり悪いことした際にはきちんと理由を説明して叱ってくれたり、弱気、恐怖心、気分が乗らないなどの時は励ましたり、意欲が湧くように関わってくださったり、頑張れた時は沢山褒めてくれ、気持ちの切り替えが難しい時も自分の力で折り合いつけて切り替えられるようにしてくれたり、職員皆さんで子供を理解し支援して下さり、迎え前は行き渋りがあっても迎えがきたらスムーズに車に乗れ、活動も楽しめているし、自分でやるべきことも、きちんとやれている。	お子様の成長につながるお言葉をいただけることが何より嬉しいことです。関わり方には様々ありますが、共通して言えるのは言葉がけから始まりますので声のかけ方やワードのチョイスなどはこれからも入念に研究していきます。お子様が成長と共に「自己選択、自己決定」をしているように、今後もお子様の自信に繋げるための努力をしています。	
	18	事業所の支援に満足しているか	8	1			
送迎対応	19	送迎は正しく行われているか	9		予定時刻に合わせて子供の行き渋りがある時はいろんな面で調整しているため、待つ時間が大幅に違ったり気持ちが崩れてしまう危険がある。大幅に遅れることが見込まれた時は迅速に連絡をいれてほしい。	日々の変化点に対してデリケートなお子様も多いと思います。事前のご連絡や報告漏れは配慮不足に他ならないため、できる限りご連絡するように努めてまいります。	
	20	運動療育は役に立っているか	7	2			
運動療育	21	今後やってほしい療育はあるか	5	2	2	私用や通園状況などがあり利用回数が少ないため予定が合う日しか利用できていないが、今後子供の体力向上や私用などの調整をして利用回数を増やせば際は児童発達をもう少し長い時間預かってもらえたら助かるし、個別療育も可能であればやってほしい。	個別療育に関しましては、平日の10:00-14:30の間で実施しておりますのでご希望がございましたら是非ご利用くださいませ。ご利用の時間帯に関しましては、原則児発のお子様は2時間制とさせていただいておりますが、放デイに切り替わる間近の年長さんなどは、放デイで長い時間を過ごすこともあるため、慣れていただくためにも放デイと同じ時間のご利用をしていただくこともございます。必要か否かのご判断も含めて状況に合わせた対応をさせていただきますのでご相談ください。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 7月 22日

事業所名 Kiddy四日市南

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動版に入ってはいけない場所に×を掲示して見える化している	子どもが困っている部分を見つけさらに過ごしやすい環境整備をしていきたい
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			普段活動として使用しない部分や、人の出入りが少ない箇所も清潔に保つようしていきたい
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている		○		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		保護者様から評価表を頂く以外にはそのような仕組みがない
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修会には積極的に参加したり、事業所内ではできる限り様々な研修を実施するようにしている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動の主担当も日によって変更したりして意図的に変化を与えている	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		できる限り楽しんで取り組めるようにアイデアを出し合っている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	初めての活動や分からないものがあれば話し合い、支援の内容を理解している	役割分担をより明確にして効率化を図る必要がある
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援で困ったことや分からない事は都度ミーティングで話し合っている	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○			
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		実際に支援の内容を見学しに行ったり、研修等で助言を頂いている	機会があまり多くないので積極的に見学や研修に参加していきたいと思う	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		障がいのない子どもと遊ぶ機会はある	園との交流があまりないため、今後実施する機会を設けていきたい	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		コロナの影響で自粛したり、開催事態が見送られたりしているため今後も状況を見て決めていく	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日子どもの様子を保護者に伝えている		
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		お話を聞く中で、お子様への受け答えの方法を助言させていただく事はあるが、プログラムとして家族支援はできていない		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナの影響もあり、現時点では会の開催を試みていない	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		子ども会議を開いたりして、子どもたちの意見を尊重してルールを決めたりしている	できる限り問題や相談事が発生する前に環境や体制を整えていきたい	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		SNSを活用して定期的に発信している		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○				
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要だと判断した児童には絵カードを用いている	自宅で保護者様とも連携をとっていただく必要があるのでその支援もしていきたい	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナの影響もあり、現時点では会の開催を試みていない	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	最低限、調理活動などに使用する食材は保護者様と共有している	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		怪我や危険な行為が見られた場合はヒヤリハット事例として記録している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			どのような場合に身体拘束が必要であり、許されるのかの基準がまだ曖昧である

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 7月 22日

事業所名 放課後等デイサービスKiddy四日市南 保護者等数(児童数) 7 回収数 5 割合 71%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	5					
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	5					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	5					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3				2	コロナ禍のため現在の実施は控えている
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	5					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	5					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	3	2				今後も保護者様のご相談内容に傾聴し、サポートできる事を提案していく
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	5					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5					
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3				2	コロナ禍のため現在の実施は控えている
16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5						

	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	5					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5					
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	5					
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	3			2		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			4		活動プログラムの中に組み込んでいるが、大切な事なのでより力を入れていく
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	5					
	23	事業所の支援に満足しているか	5					